

## ロイヤル・カリビアンがオアシスクラス 5 隻目の母港と船名を発表 世界最大のクルーズ客船が中国から出港



上海、2019年10月10日—[ロイヤル・カリビアン・インターナショナル](#)は本日オアシスクラス 5 隻目となる客船の母港及び船名を発表し、注目を集めています。業界の最先端を走るクルーズ社の革新的なラインナップに加わる新造船の名前は**ワンダー・オブ・ザ・シーズ**(*Wonder of the Seas*)に決定し、上海からの出港を予定しています。詳細についてはロイヤル・カリビアン社長兼 CEO マイケル・ベイリーにより上海で開かれたクルーズの国際会合イベントで発表されました。2021年のデビューを今から待望され、世界最大のクルーズ客船となる同船は、人気の高いオアシスクラスのなかでもアジア太平洋地域を航行する初の客船として、クルーズの新たな時代を切り拓きます。

ベイリーは、「ロイヤル・カリビアンは、時代を切り拓くイノベーションと可能性の限界を常に広げてきたことで知られており、オアシスクラス客船の中国への配船はまさにその証と言えます。ワンダー・オブ・ザ・シーズは、究極のバケーションの定義を塗り替える革新的な客船であり、ロイヤル・カリビアンを彩る最も刺激的な時代的一幕となることでしょう。」と述べています。

本日もまたワンダー・オブ・ザ・シーズにとって重要な日となりました。フランス サンナゼールのアトランティック造船所でワンダーのキール（船底に設置される骨組みの部分）が下ろされ、その瞬間から同船の本格的な建造が始まりました。キール設置として知られるこの儀式のなかで、155 フィート×65 フィート（約 47 m×約 20m）四方に及ぶ 970 トンのブロックが 1,400 トンのクレーンで建造ドック上に吊り上げられました。



【左：クレーンで吊り上げられるキール、右：キール下に置かれる新しく鑄造された硬貨】

ロイヤル・カリビアン・アジア会長 ジナン・リウ氏は、「ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは10年以上中国でマーケットリーダーとして常に大胆な運航戦略を提示しクルーズ市場において新機軸を打ち出し成長を促してきました。ワンダー・オブ・ザ・シーズの配船はまさにロイヤル・カリビアンにとって新時代のマニフェストと言えます。」と述べています。

ワンダー・オブ・ザ・シーズは世界最大のオアシスクラスの一角を担う客船となります。姉妹船と同じく洋上に浮かぶ7つの街というコンセプトに、スリリングな体験、想像力に富んだお食事、他に例のないエンターテインメント、最新技術など大胆なラインナップの数々を組み合わせます。ワンダーで行くクルーズと全く新しい“冒険”についての詳細は近日発表されます。

#### ロイヤル・カリビアン・インターナショナルについて

ロイヤル・カリビアン・インターナショナルは数々の賞に輝く国際クルーズブランドで、50年間に渡り革新を重ね、洋上では見られなかった業界初の試みをつねに導入し続けています。船上ではブロードウェイスタイルのエンターテインメントや斬新な施設を備え、ご家族連れをはじめ冒険心旺盛なお客様にお楽しみいただける多種多様なプログラムをご提供します。当社は世界で最も革新的なクルーズ船26隻を運航しており、バミューダ、カリブ海、ヨーロッパ、カナダ、米国、アラスカ、ニューイングランド、南アメリカ、アジア、オーストラリア、ニュージーランドといった全世界の人気のデスティネーションへお客様をご案内いたします。また「ゴールド・アンカー・サービス」というサービス基準を設け、全スタッフが最高のおもてなしでお出迎えいたします。ロイヤル・カリビアン・インターナショナルはTravel Weekly Readers Choice Awardsで16年連続「Best Cruise Line Overall（クルーズ・ライン総合第1位）」に選ばれています。